

日本多機能型精神科診療所研究会

2016.05.15

第2回研究会のご案内

第2回 日本多機能型精神科診療所研究会

日 時：平成28年 **5月15日(日)** 午前10時～午後4時20分
(開場：午前9時30分)

会 場：東京医科歯科大学・鈴木章夫記念講堂

JR御茶ノ水駅前／東京都文京区湯島1-5-45

参加費：会員もしくは事前登録者 3,000円
非会員の当日参加費 3,500円
職種を問わずご参加ください。

参加申込・事前登録は、当会HPよりお願いします。

※事前登録受付締切：4月30日

👉 <http://takinou.jp/>

アクセス

- JR中央線・総武線 御茶ノ水駅下車 御茶ノ水橋口
- 東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅下車 1番出口
- 千代田線 新御茶ノ水駅下車 B1出口



日本多機能型精神科診療所研究会

世話人 代表 窪田 彰 (錦糸町クボタクリニック：東京都)

世話人 長谷川直実 (医療法人 ほっとステーション：北海道)

原 敬造 (原クリニック：宮城県)

半田 文穂 (桐の木クリニック：群馬県)

斎藤 庸男 (さいとうクリニック：神奈川県)

大嶋 正浩 (メンタルクリニック・ダダ：静岡県)

上ノ山一寛 (南彦根クリニック：滋賀県)

三家 英明 (三家クリニック：大阪府)

宮内和瑞子 (宮内クリニック：徳島県)

太田喜久子 (寺町クリニック：大分県)

早稲田芳男 (早稲田クリニック：宮崎県)

会計監査 竹内 崇 (東京医科歯科大学精神科)

午前の部 10:00~12:30

10:00~ 1、開会の挨拶 窪田 彰

10:05~ 2、特別講演 座長 上ノ山一寛

精神保健医療福祉施策の最近の動向

講師 厚労省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課課長補佐
鶴田真也先生

11:00~ 3、シンポジウムⅠ

多機能型精神科診療所が医療政策に期待すること

座長 長谷川直実・福田祐典

- 地域精神科医療を発展させるのに必要なこと……………原 敬造 (原クリニック：宮城県)
- 生活現場で診療所精神科医療を使いこなす……………三家英明 (三家クリニック：大阪府)
- 医療政策への期待—医療と福祉の総合的視点から……半田文穂 (桐の木クリニック：群馬県)

12:30~13:15 昼食は各自でお願いいたします。(会場内で飲食はできません。ロビー・テラス等をご利用ください)

午後の部 13:15~16:20

13:15~ 4、全国各地からの実践報告 座長：太田喜久子・早稲田芳男

多機能型精神科診療所実践報告

14:15~ 5、シンポジウムⅡ

障害福祉サービスと多機能型精神科診療所—総合支援法の見直しの機会に—

座長 宮内和瑞子・窪田 彰

- 診療所は障害福祉サービスと共に地域を創る……………大嶋正浩
(メンタルクリニック・ダダ：浜松)
- 障害福祉サービス事業所の立場から……………田中直樹
(全国精神障害者地域生活支援協議会「あみ」)
- 診療所と障害福祉サービスとの連携の問題点……………斎藤庸男 (さいとうクリニック：横浜)
- 家族から多機能型精神科診療所に期待するもの……………本條義和
(（公社）全国精神保健福祉会連合会〔みんなねっと〕理事長)

15:45~ 6、まとめの討論 座長：三家英明・窪田 彰

16:15~ 7、閉会の挨拶 原 敬造

日本多機能型精神科診療所研究会とは

多機能型精神科診療所とは、精神科地域ケアを考えて診療を続けているうちに、必要に迫られて精神科デイケアや訪問看護などの諸機能を徐々に追加し、多職種で多機能になった精神科診療所を言います。自然発生的に発展した、日本の独創的な精神科地域ケアシステムだと言えます。

多機能型精神科診療所が、将来に例えば市町村による委託事業となれば、地域ケアの予算とともに担当地域への責任と役割が生まれます。そして、現状の診療報酬制度を超えた多様な地域活動が可能になります。実際には今後の制度的発展はどうなるかわかりませんが、どのような形であれ私たちの働きが多機能